

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月12日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(建設環境委員会所管分)

問 青梅線エリア女子旅推進委員会の「ことりっぷ」とはどんな冊子なのか。

答 女性ユーザーが9割以上という、特徴のある有料の旅行ガイドブック。

問 「ことりっぷ」はどのような地域が商品化されているのか。

答 関東近郊では、横浜、秩父、東京都などがある。

問 TGRラリーチャレンジのラリーについて説明していただきたい。

答 ドライバーとナビゲーターがペアとなり、閉鎖された競技区間のタイムの合計を競うスポーツ。

問 TGRラリーチャレンジの次年度以降の見通しは。

答 ラリー競技開催の協力を、開会式及び表彰式会場等での同時イベントを主催し、地域の魅力をPRする。

問 市道幹線II-11号線の無電柱化で、減額の理由

答 改正の影響を受ける



▲無電柱化整備が予定されている本町通り

由は電線共同溝の工法の改定によってということだが、工法がどのように違うのか。

答 電線類の埋設をより浅くする、浅層埋設化や、電線共同溝のボックス、トランスを地上に置く地上機器の小型化などにより、コストの削減を図るための改定。

市民厚生委員会

6月13日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 条例改正の影響を受ける市内施設はあるか、市内小規模保育所の連携施設確保の状況は。

答 改正の影響を受ける

施設はない。ちやいれつく福生駅前保育園は、福生本町保育園、福生多摩幼稚園小規模保育園乳幼児部ひよこは、福生多摩幼稚園を連携施設として確保している。

問 4階以上の階の施設の特別避難階段について、付室部分の規定の整備と引用条文の内容は。

答 改正は、建築基準法施行令第123条に規定されている特別避難階段に関する規定の改正によるもので、改正前は特別避難階段の付室は、排煙窓または排煙設備を設置したものに限定されていたが、改正後はこれまでの仕様を限定した規定を改め、付室を介した階段室への煙の流入を防ぐ新たな排煙方式の設置も可能となった。

◇福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 5年以上学童クラブ事業に従事した者であつて、市長が適当と認められた者とはどのようなケースがあるのか。

答 今回の改正で、例えば、中学校卒業者については、5年以上の勤務経歴と総勤務時間が5千時間程度あることを目安としている。

問 学童クラブ支援員の資格取得の方法と資格取得者の数は。

答 学童クラブの支援員



▲杉ノ子第二保育園(建替え前)

総務文教委員会

6月14日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決。同意され、陳情は1件が継続審査となりました。

◇福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問 たばこ税の引き上げに、平成29年度の実績に基づき影響額は。

答 平成30年度の予算比では16科目24時間の研修の受講が必要。社会福祉協議会は30名、特定非営利活動法人ワークスペースは9名が支援員の資格を取得している。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(市民厚生委員会所管分)

問 杉ノ子第二保育園建設費補助金の交付基準額引き上げの理由と内訳、建設費の定員の変化は。

答 建設資材や人件費等が高騰しており588万4千円の増額となる。定員は120名から130名に10名増員となる。

答 平成30年度の予算比で、平成31年度は2200万円の増、平成32年度は3890万円の増、平成33年度は7740万円の増。

問 資本金または出資金の額が1億円を超える法人等に対し電子申告を義務化するという規定の整備について、システムの改修などの準備は。

答 法人市民税の電子申告については、地方税ポータルシステムにおいて既に開始されているので特段準備の必要はない。

問 生産性向上特別措置法による減税に関し、その対象者となるような設備が対象になるか。

答 市が認定した中小企業者のうち資本金または出資額が1億円以下の法人が対象で、設備については商品の生産もしくは販売または役務の提供に供し生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する設備。

問 個人住民税に関する改正で、給与所得控除や公的年金等控除を10万円カットして、個人市民税の基礎控除に上積みするが、市民への影響、市政への影響は。

答 給与所得者や公的年金等所得者については住民税の税額による影響はなく、そのほかの所得者については基礎控除の引き上げにより税額が下がり税収に影響が出る。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(総務文教委員会所管分)

問 学校マネジメント強化事業のスクール・サポート・スタッフの業務は。

答 実施計画書記載の内容のほか、授業で使用する教材の準備、後片付け、専科教室の教室整備の手伝い、提出物のチェック等といったことを想定。

問 プログラミング教育推進事業についてその講師は、またプログラミング的思考とは何か。

答 授業や家庭で個別学習用のドリルソフトを使用しているが講師はその開発企業からの招聘を考えている。また、プログラミング的思考とは自分の考えを実現するために何をどのように組み合わせるとよい結果が得られるのかなどについて論理的に考える力のこと。

◇福祉センター設備改良工事(機械設備)請負契約

問 この改修によってエネルギー効率等がどの程度向上するのか。

答 更新する機器全体で試算すると、光熱費の金額で約30%、CO2の排出量で約50%の削減効果を見込んでいる。

問 落札者の公共施設等に関する実績は。

羽村第三中学校へのパラシュート落下について(要請)

平成30年4月17日に次の要請文を、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官に送付し、また、本件について米軍に申し入れるよう、北関東防衛局長及び横田防衛事務所長に要請しました。(各々の要請文の全文を市議会ホームページに掲載しています)

《要請文》
平成30年4月10日17時頃、横田基地における人員降下訓練中にパラシュートの一部が羽村第三中学校に落下する事故が発生した。
そして4月11日、貴職は、当該事故の安全確保のための調査等を行った結果、4月12日からパラシュート降下訓練を再開すると発表し、同日より同訓練が再開された。
横田基地においては人員降下訓練が度々行われており、平成29年度においても基地運用の安全対策を徹底するよう要請している中において、基地外へのパラシュートの落下

は、一歩間違えば人命に関わる重大な事故につながりかねず、また事故原因及び再発防止策の具体的な説明がないまま訓練が再開されたことは周辺住民の不安を増大させるものであり極めて遺憾である。
貴職においては、この状況を十分認識され、再発防止と安全確保の徹底を図ることはもちろん、基地に関する周辺住民の常なる不安を念頭に、真摯に説明及び運用責任を果たしていくことを強く要請する。

平成30年4月17日



▲設備改良工事が予定されている福祉センター

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

改修工事等の実績がある。